

## 22. 障がいのある方や高齢者を対象に健康づくりを増進

グループ名 矢切地区社会福祉協議会  
代表者 竹内 等

### ① 活動の目的

障がいを持つ方やリハビリを必要としている高齢者を対象に健康づくりを増進しています。障がい者の方が、一般的な方よりも肥満の割合が高く、生活習慣病や二次障害が懸念されています。そのため気軽に通えるリハビリの場、また日中の活動の場や居場所になるように活動を続けています。

また保健師・歯科衛生士の訪問協力を得て活動している中で、専門的な支援はできなくとも専門家に繋ぐ活動を行っています。

### ② 活動概要

矢切地区社会福祉協議会では、「健康推進部」・「子育て支援部」・「会食部」・「お茶の間サロン部」・「防災部」・「企画部」・「広報部」で構成され、地域の方と協働して活動しています。

助成対象事業となりました健康推進部「かもめの会」は、高齢者の方や障がいを持つ方が、積極的に外に出て多くの人と接し、体を動かし、会話をし、生きがいとやりがいのある生活を送れるように手助けする会です。発足して平成31年度で20年目を迎えます。

活動は、8月の暑い時期を除き、月2回2時間程度で開催しています。リハビリの内容は、ストレッチ・リズム体操・合唱・ゲーム・音楽療法・散策・気功などです。毎回20名から30名の参加者があり、ボランティアも1回当たり約7名で担っています。平成30年度は、22回開催し、延べ参加数は453人でした。ボランティアさんは地域の広報活動を含め、地域のバザーやイベントにも積極的に関わっています。地域の特別支援学校で行われたボッチャのイベントにも参加しました。

平成31年度も21回行います。5月には公園を散策し、お弁当をみんなで食べました。

### ③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	ボッチャ競技用具 × 3	72,900円
	ターゲティングマット他品代	21,710円
	マイク付きラジカセ	9,580円
	合 計	104,190円

